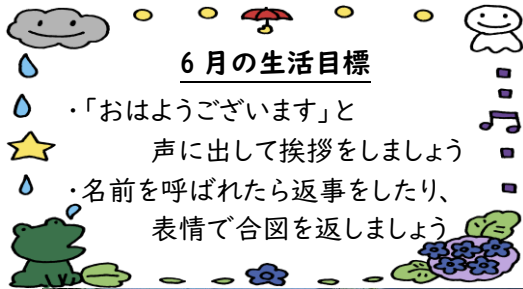


永原学園地域子育て支援センター

## さんこう・ぽぽらだより

令和5年6月発行・第194号  
認定こども園西九州大学附属 三光保育園  
TEL:0952-31-6877



### 6月の生活目標

- ・「おはようございます」と声に出して挨拶をしましょう
- ・名前を呼ばれたら返事をしたり、表情で合図を返しましょう

「じゃがいも掘り」  
たくさん掘れました♪



### 「シニアサロンぽぽら」について

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回、地域のシニアの方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。

日時:6月12日(月):フラダンス・7月7日(金):セタ製作

### ☆6月・7月の講座について

- 6月9日(金)・・・赤ちゃんの日(ベビーダンス)(先着10組)
- 6月13日(火)・・・リフレッシュ講座(ストレッチ)(先着10組)
- 6月15日(木)・・・ベビーマッサージ講座(先着5組)  
(対象:2か月~12か月)
- 6月19日(月)・・・なかよしミックス(絵本)(先着10組)
- 7月10日(月)・・・なかよしミックス(水遊び)(先着10組)
- 7月12日(水)・・・赤ちゃんの日(水遊び)(先着10組)
- 7月18日(火)・・・育児講座(トトレーニング)(先着10組)

※上記の子育て支援事業は、事前に電話での申し込みが必要です。6月分は、6月1日・7月分は7月3日から申し込みです。(9時半から電話予約開始です。)

★様々な状況により計画の変更や中止が予想されるため、お出かけの前に必ず、ホームページで支援事業の有無をチェックしてください。子育て支援のラインアカウントがありますので、ライン登録をさせていただくのが、一番お勧めです。

※時間はいずれも10時~12時までです。

### 『もったいないとありがとう』

西九大短大部の学生さんと牛丸教授が作成した標記タイトル紙芝居が完成し、佐賀市内の保育施設に配布されました。佐賀市の恵比須様とムツゴロウ君が主人公です。

2004年ノーベル平和賞受賞者のワンガイ・マータイさんは、日本で見つけた“もったいない”という言葉の意味は、環境問題の中で掲げる3R(リデュース、リユース、リサイクル)をたった一言で言い表していると、ひどく感動されたそうです。世界の中で3Rの意味を一言で表す単語は見つからないと言って、「MOTTAINAI」を世界共通語にされたそうです。

日本の家庭で普通に使われてきた言葉が、外国人によって貴い意味を持つことを知った時、これは子ども達に伝承していかなければと改めて思いました。この紙芝居は、そんな大切な日常的に使っている言葉の意味を、こどもにも分かりやすく伝えています。

SDGsに関する運動もかなり浸透してきた一方で、日頃何気なく耳にする言葉の意味に深いヴィジョンがあることに気づかされました。

ご飯を残すのは“もったいない!”、お米や野菜を作った人の苦労や思いを知ってありがたく頂く、肉や魚を食べることは、生き物の命を頂いて、人間が生き延びる糧にすること、だから決して粗末にはしないこと。日本人が昔から慈しみの心をもって残さず食べていた習慣をこれからも大切に伝えていきたいと思いました。

(三光保育園園長)

### ♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時~16時までは、西九大短大部教員による食育相談を行っています。

※事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

### さんこう・ぽぽら園庭開放について

【開園日】

★月~金  
(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】

★9:00~12:30

・園行事の為、ご利用できない場合があります。

・出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

★12:30~13:30

昼休みの為閉園

★13:30~16:00

この時間帯のご利用の場合は、電話での申し込みをお願いいたします。

☆「なかよし2歳」

6月5日(月)・7月11日(火)

☆「なかよし1歳」

6月6日(火)・8日(木)・7月4日(火)・6日(木)

### ☆6月・7月の「フリーデイ」について

保育園の支援センターを開放します。 ※事前の予約はいりません

日時:6月20日(火)・21日(水)・22日(木)

7月13日(木)・20日(木)・21日(金)

## 寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学の窓から

### 子育て便り

「1人でいるって悪いこと？」

西九州大学 子ども学部 心理カウンセリング学科  
利光 恵（公認心理師・臨床心理士）

就学前のお子さんを育てていらっしゃる保護者の方や、保育園・幼稚園の先生からいろいろな相談を伺います。その中で近年増えたなあと感じるのが、「自由遊びの時に1人でいるんですが大丈夫でしょうか？」というご質問です。

子どもはいきなり『遊ぶ』ことができるようになるわけではありません。『人を観察して真似する』という段階があるのです。さらに人を観察する前に、モノを観察して使ってみる時期があります。葉っぱや遊具、近くを通る自動車などなど。こういったモノを観察することに夢中な時期が続いていくと、今度は独自の使い方を試してみる。試しているうちに新たな発見や面白さを感じるようになる。すると子どもは、その面白さを『誰か』に伝えたいくなる。これがコミュニケーションや対人関係の発達の基本部分だと言われています。

上記の発達のスピードは、個人差があります。そのため同級生同士が集う場面で、積極的に仲間にコミュニケーションをとっていく子どももいれば、消極的に見える子どもも存在することになります。しかし、（そう見える）のは大人の視点だからであり、当の本人は、（今・ここで）自分に必要な成長の種を育てているのです。

人とのコミュニケーションの発達も、最初は（あなたーわたし）の2者関係から始まり、徐々に複数の人と同時に関わることへ展開していきます。少し集団から離れたところで、土いじりをしているお子さんは、まだ集団の輪の中に入ることに慣れていないけど、近くでお友だちの空気を感じながら、自分の課題に取り組んでいる、そんな段階なのかもしれません

最近インターネットや SNS の普及に伴って、「1人遊びをしている子どもは発達が気がかり」などの情報が流れてきます。その影響から、お子さんのために熱心に勉強している保護者の方や先生から、年々ご質問が増えていると感じます。もちろん1人遊びから集団遊びに展開するお手伝いを要するお子さんもいます。

しかし子どもの発達は十人十色です。まずは丁寧に遊びの様子を見守ってあげましょう。そして1人遊びにも、大切な発達の要素があることをご理解いただけると、落ち着いてお子さんを見守れるのではないのでしょうか？